

追い風強まる瀬戸内の船舶修繕業 ～需要拡大の中で政府が支援強化～

船舶の安全な運航を支える船舶修繕業

船舶修繕業とは、船舶の修理、設備の改修、法定検査等を行う事業を指します。国際海運で使用される船舶は数十万点もの部品で構成される大型設備であるため、運航機能を維持するためには継続的な保守・整備が必要不可欠です。

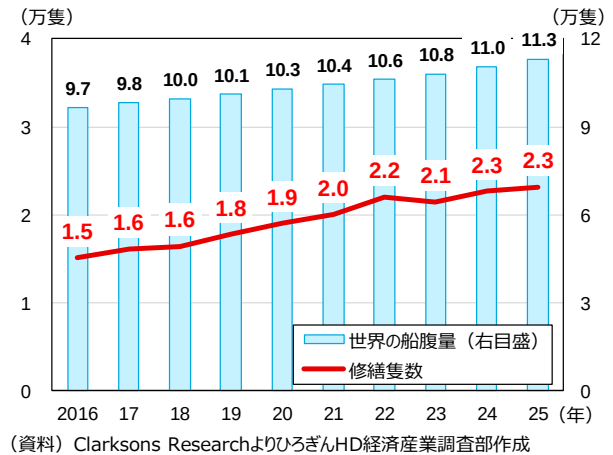
近年、世界の船舶修繕隻数は増加傾向にあり、2025年は2.3万隻と2016年の1.5倍に達しています（図表1）。海上輸送量の増加を背景とする船腹量の拡大に加えて環境規制の強化に伴う設備改修需要の高まりなどから、船舶修繕需要は今後も堅調な推移が見込まれます。

瀬戸内地域の船舶修繕事業者への追い風

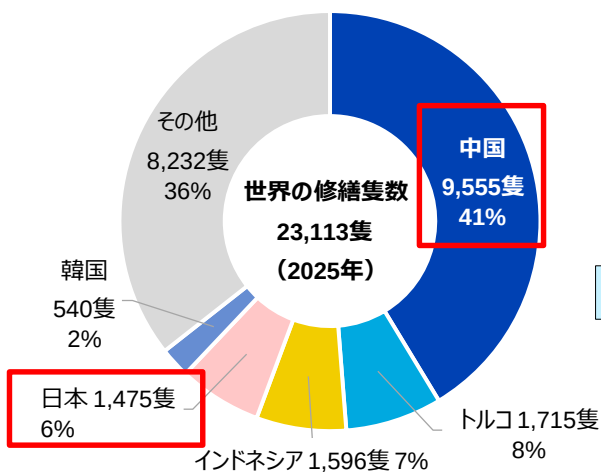
世界の船舶修繕市場（2025年）では中国が約4割のシェアを占める一方、日本のシェアは6%にとどまっています（図表2）。こうした中で政府は、経済安全保障や市場獲得等の観点から、船舶修繕を戦略17分野における62の「主要な製品・技術等」の1つに選定し、国内の船舶修繕能力の強化に向けてドック、クレーンを始めとした大規模な施設・設備の増強や修繕人材の確保に向けた教育体制の整備等を進める方針を示しました。

広島県を中心とした瀬戸内海沿岸には多くの船舶修繕事業者が集積しており、全国有数の修繕拠点を形成しています（図表3）。今後、需要の拡大や政府支援を追い風に修繕ドックの整備や人材確保が進むとみられ、地域経済への波及効果も期待されます。

図表1 世界の船腹量と修繕隻数の推移

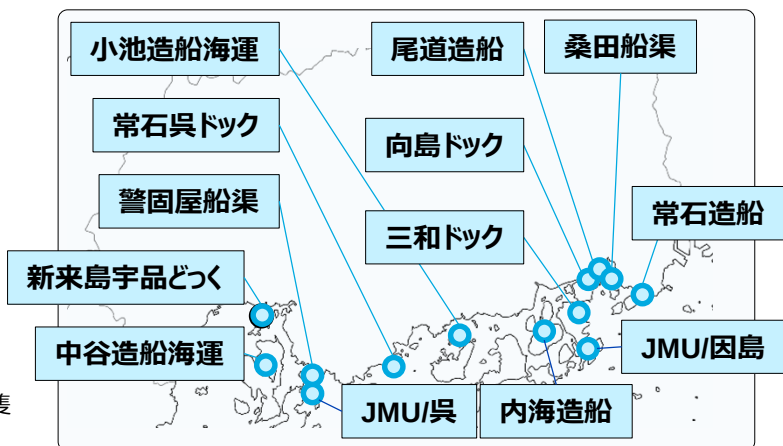


図表2 世界の修繕隻数の国別シェア



(資料) Clarksons ResearchよりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表3 広島県内の主な船舶修繕事業者



(資料) 中国運輸局資料など各種公開情報よりひろぎんHD経済産業調査部作成

品質向上のため
アンケートにご協力ください。



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家に相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：竹島（TEL082-247-4958）までお願いします。

※ ナインアット株式会社が提供するアンケートサイトへ遷移します。